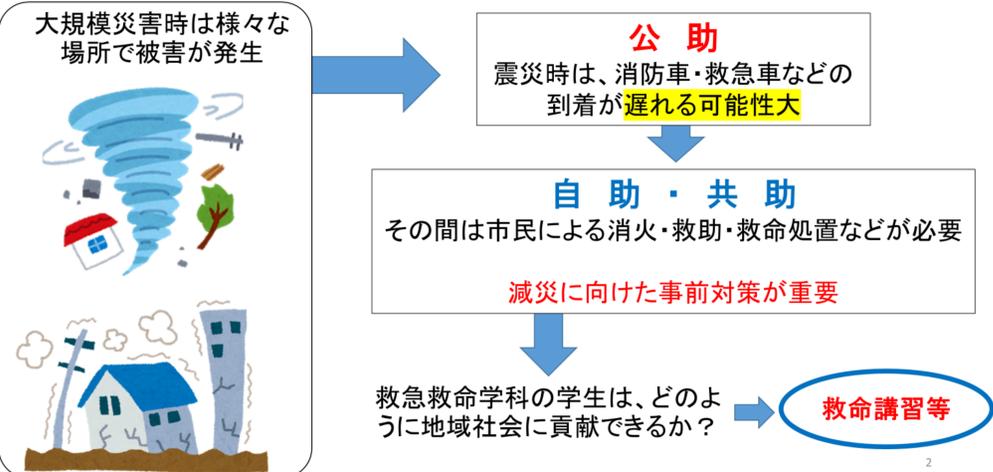


地域での多様な活動

～救急救命学科学生の活動事例～

杏林大学保健学部救急救命学科：宮野 收 滝沢 文彦 奥田 昭

自然災害が頻発・激甚化する日本における「災害に備えるまちづくり」



2024年度の活動

- 1 市民に対するBLS指導(三鷹市総合防災訓練等)
- 2 中学生に対するBLS指導
- 3 「三鷹市民駅伝大会」や「武蔵野市医療連携訓練」において医療救護ボランティア活動

1 市民に対するBLS指導(三鷹市総合防災訓練等)

- ・実施日: 令和6年10月6日(日)/10月27日(日)/令和7年3月22日(日)
- ・参加者: 救急救命学科ボランティア学生38名、教員4名
- ・体験者: 市民約527名以上が応急救護体験
- ・内容: 学生による心肺蘇生法及びAED取扱いの指導
- ・市民から「親切な対応で、質問に分かり易く応えてくれた。」といった声が聞かれた。



2 羽村市内の中学生に対するBLS指導

- ・実施日: 令和6年6月21日(金)
- ・参加者: 救急救命学科学生50名、教員10名
- ・対象者: 3中学校、中学2年生延べ441名
- ・内容: 教員による講義、学生による心肺蘇生法の展示・指導
- ・アンケート結果: 体験した中学生の約94%が「人が倒れたとき、協力して応急手当ができる(「まあまあできる」含む。)」と回答した。



3 三鷹市内の中学生に対するBLS指導

- ・実施日: 令和6年12月5日(木)・6日(金)
- ・参加者: 救急救命学科学生9名、教員2名
- ・対象: 第1中学校、中学1年生280名
- ・内容: 三鷹消防署及び東京防災救急協会と連携し、普通救命講習の指導
- ・各中学校教員からも本学学生の懇切丁寧な指導に対し、好評を得ている。



4 「三鷹市民駅伝大会」や「武蔵野市医療連携訓練」での医療救護ボランティア

- ・実施日: 令和6年10月20日(日)/11月24日(日)
- ・参加者: 救急救命学科ボランティア学生28名、教員4名
- ・走者等: 185チーム925名
- ・内容①救護所で保健師と連携して負傷者対応
- ・内容②医師等病院関係者及び市職員等と連携し多数傷病者訓練を実施

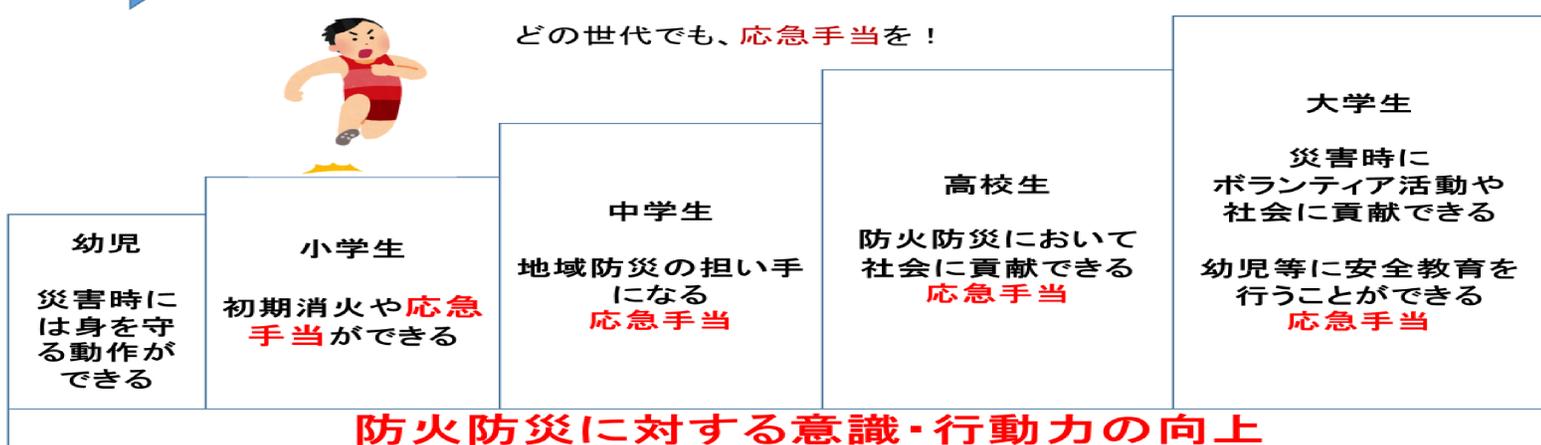


まとめ

「災害に備えるまちづくり」の為には各地域の防災意識・防災力の向上が必要不可欠

→ 防災意識・防災力の向上には**幼少期からの防災教育**も大切！！

どの世代でも、**応急手当**を！



市民一人ひとりの**防災力の向上**